

みょうあみだぶつやちきしんじょう

【明阿弥陀仏屋地寄進状】

(端裏書)

(寄進)

「明阿ミた仏のきしん状」

きしん申地壺所の事

(口)(西)(東)(二一町)

くちにしひんかしゑにちやう

合壺所、

(奥)(北)(南)

おくゑきたみなみゑ十四ちやう

(近衛油小路)

右、件の地ハこのゑあふらのこうち、あふらの

(類)

よりハにし、このゑおもてきたのつらなり、

(買得)(相伝)

かの地ハ、明阿ミた仏はいとくさうてんの地也、

(相副)

(塩)

小路)(河原

本文書おあいそへて、しおのこうちかわら

口)

(道場)

(証)

くちの御たうちやうへ、御あかしのために

きしん申ところなり、さらに他のさ

またけあるましく候、よて為後日きしん

二一

申しやう如件、

(貞治)

ちやうち五年卯月十一日明あミた仏(拇印)

(一三六六)

(爪印)